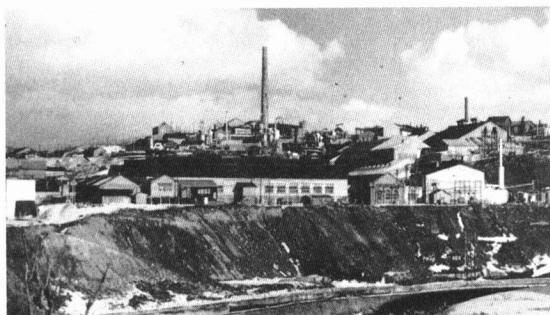


1915年（大正4年）、磐梯村議会では、工場用地を提供することを決議し、高田商会のあえん製練所が建設されることになりました。

この製練所は、その後年々発展し、1928年（昭和3年）には日本曹達株式会社せいれんに引きつがれて、さらに大きな工場になっていきました。



日曹会津工場の全景

当時、福島県では最初の重化学の工場が、なぜ、磐梯町や河東町（昭和電工東長原工場）につくられたかを考えてみましょう。

- ア. 鉄道ができて、物や人の輸送が便利になったこと。
- イ. 工場でする水が豊富にあったこと。
- ウ. 発電所ができたため、工場に必要な電気が地元では安く利用できたこと。（全国平均の1/3）
- エ. 工場をつくるための広い土地が、駅の近くに提供されたこと。
- オ. 学校教育の充実によって、近代的な工場で働ける人が求められたこと。



工場の大煙突の下で